

**1. 令和4年度当初予算（案）について**

**2. 産業振興について**

- (1) 商店街支援について
- (2) 産業振興方針について
- (3) 稼ぐ区有地について
- (4) 文化振興について
- (5) その他

**3. 区ホームページのリニューアルについて**

**4. 中野駅周辺再開発について**

- (1) 中野駅南口駅前広場整備について
- (2) 中野通りの中野駅ガード下について
- (3) その他

**5. その他**

- ・桃園橋の親柱等保存について
- ・東中野駅西口線路沿い桜並木について

▼杉山 令和4年第1回定例会予算特別委員会におきまして、立憲民主党・無所属議員団の立場から総括質疑をさせていただきます。質問は通告のとおりで、5のその他に関しましては、時間の許す限り、桃園橋保存の件、そして東中野駅西口桜並木の件について質問してまいります。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

## 1. 令和4年度当初予算（案）について

▼杉山 初めに、当初予算（案）について伺います。既に我が会派の精鋭たちが歳入や基準となる一般財源など様々な切り口で質問をしております。私からは特目基金への積立てについて伺います。義務教育整備基金、社会福祉施設整備基金などの施設整備に関する基金の積立て、構造改革実行プログラムにおいて、対象施設の減価償却費相当額の25%を基金に積み立てていくとのことですが、目標値を25%に設定した理由をお教えてください。

▽森財政課長 25%の目標ということの理由でございますが、施設設備に係る事業費の財源といたしましては、国や都の補助金などのほか、基金及び起債を活用しているところでございまして、起債につきましては、総事業費から国や都の補助金などを控除した額のおおむね75%程度充当できるといったことが一つ大きなところでございます。減価償却費相当額の25%を毎年積立てていくという考え方については、耐用年数経過後、起債を75%充当すれば、建設当時と同じ経費での施設更新が可能な財源確保ができていているという、そういった考え方によるところでございます。

▼杉山 残りの75%が起債充当額、限度額ということで理解をしています。75%を起債に充てると理解しています。ただ、25%の確保を目標に歳入を鑑みながら基金積立額を見直す必要がありますが、どうなったら基金積立額を見直すのか、基準はございますでしょうか。

▽森財政課長 今のお話は毎年の積立額のところでございますが、残高についても意識をしていく必要があると考えておりまして、基金残高については減価償却の累計額、こちらの25%を保つということが一つの目標になってくるかなと考えております。ですので、基金残高がその目標額を下回る見通しになった際には、積立額を減価償却の25%だけではなくて、一つ調整が必要となってくるかなという考えでございます。

▼杉山 学校などの大型施設の減価償却はおおむね50年から70年。減価償却費相当額の25%というのは、施設の価値が変わっていく中で、また、経済状況などが変動する中で、この一定25%という数値の確定にはメリットとデメリットがあると思います。区の見解をお示ください。

▽森財政課長 メリットといたしましては、将来にわたって必要な区民サービスを提供し続け

るためには、景気変動においても揺るがず、安定的に財源を確保していくとともに、将来的な行政需要に備えていく必要があるといったようなことから、こういった考え方で基金の積立てをしていくということは、一つの財務規律としては有効だと考えております。一方、デメリットといたしましては、今、委員のお話のあったように、施設の価値ですとか、経済状況ということもお話ございましたが、物価上昇等が考慮されていないことから、耐用年数経過後の改築の際に、規模や備える機能によっては十分な更新経費を確保できない可能性は想定されるところでございます。

**▼杉山** 今の耐用年数とかそこら辺を加味した上で、そのデメリットを解消したら、一定25%という考え方は自信を持って進められると思います。このデメリットを解消する手だてというのはございますでしょうか。

▽森財政課長 減価償却費の25%の積立てのみならず、物価上昇等を考慮して基金の積立計画を立てるということが一つの解消策として考えられるところでございます。今後の施設整備計画ですとか、歳入の状況などを踏まえながら、考え方は整理していきたいと考えております。

**▼杉山** 今後いろいろ手を打たなければならない施設整備計画がある中で、財政調整基金の中の施設改修分という形で自由に使える状態なのは大変不安だと思っております。財政調整基金の施設改修分を特目基金として別建てして独立させるという考えもありだと思ひますし、年度間調整分の考え方も新たに加味した上で、確実に特定目的に使える基金をできるだけ見える化することを進めていただきたいと考えておりますが、区の見解をお示してください。

▽森財政課長 施設改修分につきましては、他の特定目的基金の対象とならない施設の整備ですとか、また保全工事の財源確保のために財政調整基金の中で運用しているものでございまして、一定、施設整備ですとかそういった工事に当たっての柔軟な基金活用はできていると考えているところです。ですので、当面は現状どおりの運用を考えているところでございますが、今お話があった基金の見える化などについては検討を進めていきたいと考えております。

**▼杉山** ありがとうございます。他の事例も参考にしながらぜひ熟考して、常に最適な手法で安全な基金運営を考えていただきたいと思ひます。

**▼杉山** ちなみに、中野区方式では公債費負担比率を10%以内で運用することとしています

が、令和7年には23%となっています。中野駅新北口駅前エリア再整備事業のスキームに基づき、転出補償金による繰上返還を見込んでいるためとありますが、予め分かっているのであれば、この年の公債費負担比率を10%以下にするやり方というのは考えられないのでしょうか。減債基金積立額を減らすとか減債基金取崩額を増やすなど、あと平坦にするなど、もし案があれば伺います。

▽森財政課長 転出補償金を一旦、今お話のあった、例えば減債基金に積立てをして、複数年度で償還をしていくということであれば、計算上10%以下に抑えるということは考えられるところではありますが、しかしながら、早期に償還をすることで、利子の発生を抑制するといったようなこともありますので、令和7年度については、一時的に公債費負担比率が10%を超えることとなりますが、その時期に一括償還をしていくということが望ましいと考えております。

▼杉山 10%に下げるということは現実的にはないということですが、例外をつくると、やはり見込みに甘えが出てしまうと思われれます。10%で運用するとしているのであれば、イレギュラーを認めないでいただきたいと考えていただきたいというところです。

▼杉山 次に、債務負担行為に関連した質問をします。地方自治法では単年度収支の考え方が中心ですが、これからは複数年で事業サイクルを進めていくべきという考えもあります。東京都は1月、令和4年度の予算案の概要を発表しました。予算編成方針や基金や都債などの見込みのほか、コロナ対策や危機管理、ゼロエミや経済、DXや格差のない社会への取組など様々盛り込まれている中で、債務負担行為についての考え方も示されていて、事業効果をできる限り早期に還元し、事業計画やスケジュールの加速化を追求するとともに、債務負担行為も積極的に活用するとあります。中野区として、この東京都の取組についてどのような考えを持っているのか、まずはお聞かせください。

▽森財政課長 施策目的や効果の早期実現に向けまして、事業計画やスケジュールの加速化が一定図られる場合もあると考えているところではあります。

▼杉山 単年度予算の中で債務負担行為を活用することは、年度別で工程別に工事の発注などを行うことで工程が間延びしてしまうことを避け、費用と工期の圧縮が図れることは明白ですので積極的に取り入れていくべきだと思います。ただ、債務負担行為が適用されるのは主に建設工事、そしてシステム開発などのみに適用されています。民間企業では、複数年度の予算を組ん

で商品開発を行ったり、プロダクトマーケティングや販売戦略を実施したり、複数年かけて新サービスを浸透させていくPRなど、年間予算などでは考えることなく、短期、中期、長期で物事を考えていくことが当たり前です。区として、債務負担行為を拡大することによりもたらされる効果はどのようなものがあるとお考えでしょうか。

▽森財政課長 基本計画を着実にかつ計画的に進める上で、今お話があったように、債務負担行為を適宜活用することで事業効果を迅速に区民に還元できる面があるとは考えております。一方で、債務負担行為は翌年度以降に区長が行うことのできる債務負担の限度額を、期間を限ってあらかじめ決定しておく制度でございまして、後年度への負担を義務付けることとなりますので、乱用することで財政の硬直化を生むことも考えられますから、総合的な判断で検討が必要だろうと考えております。

▼杉山 システムや建設系以外にも債務負担行為が必要となる事業の拡大も検討してみたいと考えますが、区としてはいかがでしょうか。

▽森財政課長 基本計画の事業を計画、実行していくに当たりまして、効率的・効果的な執行方法を検討していく中で、今のことも含めて検討していきたいと考えております。

▼杉山委員 ちょっと関連しまして、よく設定されているKPIに関して、事業には長いスパンで考えなければいけないものから四半期ごとにKPIをチェックして、常に是正を重ねていくべき事業もあると思います。初年度はほとんど実績が見込めないが、3年後のKPIを達成するために手段を講じる、四半期ごとにPDCAサイクルを回してKPIとの乖離を把握しながら、さらなる手段を講じていく、こういうやり方もあります。事業規模、そして目まぐるしく変わる環境に合わせて、単年度で一度PDCAを回すことだけを考えるのではなく、短期でも長期でも事業に合わせてKPIを考えていくべきだと考えますが、いかがでしょうか。

▽堀越企画課長 長期、短期におけるKPIについてでございます。事業の性質によりましては、短期あるいは長期スパンで見ることが適しているものもあると考えられます。現在、区の計画などでは柔軟に成果指標のスパンを設けることには対応はできていないのが現状でございます。KPIの効果的な運用方法につきましては、区政運営の仕組みの中で今後研究をしてみたいと考えております。

▼杉山 債務負担行為の質問に戻りますけれども、例えばホームページリニューアルは令和4年度に業者の募集を開始して、11月に業者選定、そして令和5年度11月にローンチとなり、現在予算化している5,200万円、全額を支払う計画のため、債務負担行為の対象案件となっています。つまり、基本設計、詳細設計、製造テスト、運用設計などの工程が完了し、一括で支払うことを想定しているため、令和4年度には支払いゼロ円で、債務負担行為が設定されています。ですが、建物の工程別支払いと同じように、基本設計、詳細設計で工程を切り、支払いを行うということで、債務負担行為とする必要はなくなり、ホームページの設計が納品され、設計書が納品され、その納品物がエビデンスとなり、工数の後戻りなどが起きない、そこから開発の範囲が膨らまない、遅れが出ないなどのメリットを得られると思いますが、なぜシステムやコンテンツにも、この工程ごとの検収を取り入れないのか、伺います。

▽高村広聴・広報課長 ホームページのリニューアルに当たりましては、他自治体のホームページリニューアルの工程や状況を確認するとともに、情報システム構想企画書を作成し、CIOオフィスによる専門的見地からの評価を受けてございます。さらに、リニューアルに当たっては、クリティカルパスを明らかにするとともに、各工程において適宜確認することによって、大幅なスケジュールの変更や作業の大きな後戻りは回避できると考えてございます。また、債務負担行為とすることで、年度ごとの契約と比べ、コストが抑えられると考えています。質や安全面、効率性の担保、コスト面などを勘案し、適切な進め方であると認識してございます。

▼杉山 私としての考え方は、分割検収が発生するしないにかかわらず、ちゃんとした詳細設計書が正しくできているかどうかによって、そのプロジェクトが正しく予定どおりに進むと考えております。制作業者との範囲の内側なのか、外側なのかをはっきり分かれば、手戻りや先祖返り、追加工数の請求などが発生しないと思いますので、区の財源を守るという意味で、詳細設計書の出来は大変重要です。全ては詳細設計書の出来で決まると考えております。そういう意味では、その時点での分割検収も手段としてはありだなと考えておりますが、ぜひ検討を頂きたいところでございます。

▽高村広聴・広報課長 先ほどと繰り返しになりますけれども、ほかの自治体のいわゆるリニューアルの過程とかを確認しています。それから、先ほども言いましたが、クリティカルパスを明らかにしますし、各工程においてそれぞれの段階で確認をしていきますので、大きな手戻りが無い、委員御指摘のようなことが生じないように丁寧に進めてまいります。

▼杉山 そのようにしていただけると大変ありがたいと思います。損をしないように、工程が遅れる、損しない、その形であれば、どの形でも正しく進んでいけば、後戻りをしないということが重要だと思しますので、ぜひともその形でお願いいたします。

▼杉山 ここからは、来年度の取組に入っていないが、中野区として今後取り組むべき事業などについて伺ってまいります。

## 2. 産業振興について

### (1) 商店街支援について

▼杉山 まず、産業振興についてのうち、商店街支援について伺います。コロナで大打撃を受けている商店街、昨年から今年にかけて必要性を説いてきた、区内で利用できる商品券のデジタル化の手法検討及び商店街キャッシュレス化の推進や拡大に取り組んでいただいていることには感謝しております。また、区内企業に対して、引き続き貸付限度額や、利子補給優遇措置などの拡充も御配慮いただいております。しかしながら、ひとつふたつとシャッター店舗が増えてしまった現実も受け止めなければなりません。今、何か手を打たなければ中野の自慢の商店街の灯が消えてしまいますし、シャッターが閉まっている店舗に再び明かりをともしなければと思います。店舗として、体をなしていない状況をしっかりと把握し、理由をヒアリングしながら、熱い気持ちで丁寧に交渉を重ね、商店街を再生していくことが重要です。空き店舗のままでいいわけがないはずですが、まずは区の見解をお聞かせください。

▽平田産業振興課長 空き店舗に対する区の見解でございますが、商店街は区民の消費活動を充足させる役割を持つと同時に、地域コミュニティの核としての役割を担っております。地域にとって欠かせない存在であると考えてございます。これまでも区内商店街における空き店舗は微増傾向にございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、それに拍車がかかる可能性があると考えております。また、それが商店街の存続そのものにも影響を与えかねない状況でございます。区としましても空き店舗対策の必要性は認識しているところでございます。空き店舗となっている理由の把握等につきましては、現在調査の実施方法等について検討しているところでございます。

▼杉山 今の御答弁で、区としても何とかせねばと、課題として捉えていることは分かりました。

商店街活性化のための空き店舗対策は喫緊の課題です。この件は、令和3年第4回定例会でも、空き店舗の店舗化やトイレ、そして入り口問題を解消して、家主動線や居住区と店舗を分離する商店の改築助成について必要性を説いてまいりましたが、個々の店舗への店舗改築助成は、個人の財産形成に当たるため慎重な検討を要すると考えているとの区長答弁でございました。しかしながら、横浜市や多治見市では、店舗化のための改築費用、上限数百万で、3分の2を助成、行政独自予算で実施をしております。つまり、個人の財産形成云々は、前出の自治体はクリアしつつ、助成を実施していることと思います。予算云々はこれから考えるとして、我が自治体でもやろうと思えばやれますよね。伺います。

▽平田産業振興課長 店舗住居の分離の改築助成についてでございますが、改築への直接的な支援につきましては、個人の資産に対する公金投入となる場合も考えられまして、区としては、以前から公平性の観点から慎重に行うべきと考えているところでございます。一方で、委員御案内の多治見市では、中心市街地活性化事業の一環として、対象地域内の商店街活性化を位置付けているところでございます。その中で空き店舗対策としての店舗改修費補助も事業化しているものでございます。個店支援につきましては、来年度策定予定の産業振興方針におきまして、まちづくりや区内産業活性化などの観点に位置付けまして、必要な支援策についても、その中で検討してまいりたいと考えております。

▼杉山 山口市の事例のように、都市開発推進機構と地域の金融機関によるまちづくりファンドを活用すれば、税制優遇などもあります。商店街への調査、職員による目視や訪問などで情報を得つつ、支援内容を検討し、補助率や件数を決めて、大いに募集をかけてみることで、反応やニーズを探ることもできるかと思えます。耐震補強の助成の際にも、初年度は補助の利用はなかったが、条件の軽減によって利用者が増したと記憶しております。ぜひ一度やってみるのも手だと思えますが、いかがでしょうか。

▽平田産業振興課長 事業化につきましては、来年度の産業振興方針の中で議会等とも御議論いただきながら考えてまいりたいと考えております。

▼杉山 さきの定例会で、例えば一つの商店街をモデル事業として、空き店舗対策の支援を行ってみてはいかがでしょうかとお話いたしました。手を差し伸べたい商店街を戦略的に一つ定め、支援し、商店街再生の成功事例をつくることに注力していただきたいのです。ちなみに、区長答弁では、都の制度を活用しながら、モデル商店街などの検討も含め、空き店舗対策を推進し



て参りますとのことでした。

▼杉山 「世界一おもしろいお菓子屋さん」をコンセプトに、2005年の6月に日本1号店として、薬師あいロード商店街にオープンしたスペインバルセロナ発の「パパブブレ」、中野オリジナルのキャンディーも作ったり、テレビにもよく登場したりしています。創業者の菅野社長は、この場所がスペインのイメージにぴったり。そして中野区の募集に応募して、この場所に店をオープンしたそうです。これ、中野区の誘致募集で第1号となっているはずです。その後、おしゃれな店がどんどん薬師あいロードに集まってきて、中野の自慢の商店街の一つとなりました。このように、個々の商店街の目指す将来像と、その将来像にじっくりくる店舗を誘致してあげるお手伝いを区主導で行っていく取組が必要ではないでしょうか。家賃補助などでメリットを見せつつ、店舗を募集し、将来の商店街の軸となる店舗を選定する、このようなやり方で、将来性のある店舗を獲得する支援をすべきだと考えますが、いかがでしょうか。伺います。

▽平田産業振興課長 サンプル調査の可能性につきましては、現存の仕組みの中でも可能だと考えておりますので、商店街連合会とも相談していきたいと考えております。また、区主導の店舗誘致の取組についてでございますが、商店街の活性化におきまして、集客力のある魅力的な店舗の存在は欠かせないものと考えております。既存店舗の経営力の向上や新規店舗誘致への支援については、必要なものと考えてございます。また、そのためには、東京都の空き店舗ナビの周知を図るなど、リアルタイムの空き店舗情報提供と併せまして、個々の既存経営者や空き店舗への出店希望者に対しまして、経営力向上や出店に向けての適切なアドバイスを行うビジネスサポート的な機能の充実も大切だと考えているところでございます。区としましては、東京都など既存制度の活用も含めまして、有効な支援策の構築に向けた検討を進めていきたいと考えております。

▼杉山 一つの商店街がこの手法で再生できれば、課題を解決しつつ、手法を横展開できていくと思います。家主に対するアプローチ、誘致する店舗候補へのアプローチ、どちらにも相当の熱意、熱量が必要であると、多治見や山口市のタウンマネジャーが申ししておりました。そのとおりだなと感じております。ぜひ一つの成功事例を早期に手に入れ、中野の宝を守っていただきたいところです。

▼杉山 商店街関連の最後の質問に、コロナの影響をずっと受けながらも、コロナ対策を万全にしながら営業を続けている区内の飲食店が、さらなるコロナ第6波の影響による政府のまん延

防止等重点措置によって活気を取り戻しつつあった状態から、一気に奈落の底に突き落とされたかのような状態になったと、一部耳に入っております。今回ばかりはと静かに休業の張り紙をした店、数店舗あるうち半分を閉めて営業している店、新店舗の開店を延期した店など、商店街は暗い影も落としております。来年度予算に、過去に実施したプレミアム付商品券の発行や、キャッシュレス決済キャンペーンなど、コロナ禍で打撃を受けている商店街に対する直接的な施策、支援策などが見当たらないことに対して、どのように考えているのか、区の見解をお示しく  
ださい。

▽平田産業振興課長 商店街に対する直接的な支援についてでございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって影響を受けている区内商店街につきましては、継続した支援が必要だと考えているところでございます。令和2年度のプレミアム付商品券や、今年度実施しましたポイント還元事業など、これまで実施してまいりました様々な商店街支援事業は、一定の成果を上げてきたと判断しているところでございますが、今後の支援策につきましては、財源確保も含めた検討が必要だと考えております。国や都の動きを注視するとともに、効果的な支援策につきましては、引き続き検討してまいりたいと考えております。

▼杉山 かねてよりお話しさせていただいておりますけど、中野区内で商店、飲食店を営んでいる人の7割、中野区民であるという情報もあります。また、営んでいないが、従業員やアルバイトなどで従事している方々の中にも、中野区民が多くいるはずです。来年度、コロナ禍での事業者支援に関する国の交付金を積極的に活用していく、一般財源を使った区独自の飲食店支援策を進めるなどで、コロナ禍での応援キャンペーンなどを仕掛けるべきだと考えますが、再度お考えをお聞かせください。

▽平田産業振興課長 キャンペーン等の必要性は認識しているところでございます。国や都の動きによって財源確保等も含めた上で、改めてそういった施策につきましては検討してまいりたいと考えております。

▼杉山 コロナ禍で多くの飲食店が店を畳んでしまう可能性だけでなく、商店街そのものも消滅してしまう可能性も秘めております。ぜひ中野の宝である自慢の商店街に手を差し伸べていただきたいと強く願いつつ、次の質問に移ります。

## (2) 産業振興方針について

▼杉山 次に、産業振興方針について伺います。私は、かねてより始まりのまち、チャレンジできるまち中野と位置付けております。肌感ですが、中野はフリーランスの方が多いように感じます。クリエイターデザイナー、イラストレーターやアーティスト、カメラマン、プロレスラー、お笑い、建築、スーツアクター、プログラマーなど、業種は様々ですが、現在中野区内にフリーランスを掲げる個人事業主の数は把握できておりますでしょうか。

▽平田産業振興課長 中野区に限定した調査はございませんが、2020年に内閣官房が実施した調査によりますと、日本国内で本業、副業も含めまして、フリーランスで働いている方は約462万人いると試算しているところでございます。

▼杉山 東商中野の登録者、事業者数は約2,500社、東商は法人化していない飲食店経営などの個人事業主もかなり会員となっております、税務署に事業申請していれば、事業主とみなし、会員対象、支援対象としています。中野区内の中小企業及び事業所数は約1万5,000、うち飲食店が2,000、美容業が400、土木業500、IT800などの情報もありますが、なかなか正確な情報は把握できていないのが現状です。中野で仕事をしているカメラマンに——テレビのカメラマンですね——に話を聞きますと、例えば発注主はテレビ局の〇〇、その下の〇〇エンタープライズという子会社に発注して、その〇〇エンタープライズは、お抱えの番組制作会社に発注をし、その番組制作会社がさらに撮影クルーをその都度調達していて、そこで仕事を頂いているとのことでした。階層的には4次請けという形になりますが、撮影技術などはもちろん優れていて、番組制作の最前線でハンドルを任されているそうです。仕事の質は高く、最前線でもストレスがかかる中、4次請けとなるため、手取りはフリーター並み、その人が大元の発注主、テレビ局〇〇から直接仕事を頂くことができれば、収入も倍増し、税収も増えるというものです。

▼杉山 このフリーランスのカメラマンがテレビ局〇〇から直接仕事が請けられない理由は多々あると思いますが、例えばテレビ局〇〇が子会社に仕事を発注しなければならないとか、グループの売上げが必要だとか、出向している人材ネットワークが豊富だとかいろいろあると思うんですが、幅広い企画なども求められることもありますが、どのようなハードルがあつて直接大手のテレビ局からフリーランスのカメラマンが仕事を請けられないのか、もしお考え、ひらめいたらお聞かせください。

▽平田産業振興課長 法人と比較しまして、フリーランスの方々は直接仕事が請けられないという現状があることは認識しているところでございます。理由としましては、国や都、民間などの調査によりますと、社会的信用を得にくい、機材などを自らそろえるのが困難などがその理由となっていると考えられるところでございます。

▼杉山 今のお話、まさにそうで、大きなお金が動く中で、発注する側の企業としては、使う業者としての技術力ももちろんですが、製造物責任、それから与信の問題がやはりネックとなります。納品できなかったとか、体調を当日崩して、代わりのカメラマンをアサインできなかったとか、関連作業などにも多大な影響を発生させてしまうことも考えられます。まさに社会的信頼がなかなか得られていないという状況が問題であると。過去に問題を起こした、またこれから起こるかもしれない問題を起こしたときの責任をフリーランスそのものが取る能力があるかどうかによって、発注主が発注できる外注先に登録できるかどうかが決まるわけです。要は与信が通るか、通らないかです。この辺りをクリアしているのが一人親方集団の東京土建さん、そして民間だと、クリエイターを抱えるクリーク・アンド・リバーさんですね、最近CMとかやっています。こういう企業がそういう与信を担保してごそっと受ける。中野区として社団法人などを設立して、フリーランスの与信を一定程度担保するような支援策を講じてみるのも面白いかと思いますが、いかがでしょうか。

▽平田産業振興課長 フリーランスの方々向けの支援といたしまして、区として果たすべき役割や効果的支援策等につきましては、今後研究してまいりたいと考えております。

▼杉山 フリーランスの収入が増えて、税制も増え、経済の活性化が進む一つの考え方として、ぜひ捉えていただきたいと思います。フリーランスと言えば、業種も年齢層も幅広く、支援も大変となるイメージですが、子育て先進区を目指す中野区を掛け合わせて、「ママ起業家」や「ママ事業家」に特化した支援を行うことを考えてみてはいかがでしょうか。産業振興の注力に「ママ起業家」や「ママ事業家」をターゲットにすることで、またICTCO（イクトコ）跡地などを活用してコミュニケーションスペースを兼ねた一時保育施設付きコワーキングスペースを時限的に進めてみるなど、いかがでしょうか。区の見解をお聞かせください。

▽平田産業振興課長 これまでの産業振興拠点事業や創業セミナーなどでは、子育て中の母親を対象とした事業を行った事例はございませんでした。一方で、子育て先進区及び区内産業振興の観点から、そのような取組も一つあると考えてございます。来年度につきましては、女性に焦

点を当てた事業も予定しているところでございますが、子育て中の女性を対象とした事業につきましても、子育て先進区として、先進事例となるような施策の構築について、今後検討してまいりたいと考えております。

**▼杉山 先進事例を参考にするという答えが来るとは思ったんですけど、先進事例になるというお言葉はちょっと強い前向きな言い方で、ありがとうございます。子育て先進区を目指すのですから、自ら先進事例になるべきだなと思います。リスクもありますが、先進事例としての、他の自治体に参考にされるよう進めていただきたいところです。この辺り、通告はちょっとありませんけれども、区長はどのようにお考えですか。先進事例をつくる側になるべきではと思いますが、いかがでしょうか。もしお答えできれば。**

▽酒井区長 杉山委員の御質問ですけれども、我々としても、子育てカフェとかいろんなタウンミーティングの中で、育休中の保護者の方から育休中の間だけでも、いろいろ起業だとか、働き方、何かできないかということのお声を結構たくさん頂いておりまして、それについて、なかなか都市部の中では実現できていない政策でございますので、子育て先進区としての先進事例としてはそれは検討してまいりたいと思います。

**▼杉山 区長の力強いお言葉、ぜひとも前にお進めいただきたいと思っております。**

**▼杉山 また、区政課題が庁内でクリアできていない場合、区政課題を解決するビジコンをその都度開催し、解決をしていくことを推進したらいかがでしょうか。区内外の事業者に区政課題を解決するためのアイデアを募集して、採用アイデアに賞金を進呈し、アイデアは区の保有となりますが、このような内容のビジコンについて区の見解を求めます。**

▽平田産業振興課長 ビジネスプランコンテストについてでございますが、2019年度までは、中野区主催で重点産業に関するコンテストを開催しまして、様々なビジネスプランが生み出されたところでございます。また、そのプランを基に、その後活躍している事業者もいるところでございます。2020年度からは、西武信用金庫が地域密着の金融機関としての特性を生かして、ビジネスプランコンテストを主催してございます。区は共催となっているところでございます。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況の中で、持続可能な社会実現を目指すビジネスプランを募集しているところでございます。委員御案内の区政課題を解決するためのビジネスプランコンテストの開催につきましては、有効な開催方法につきまして、今後検討してまい

りたいと考えております。

▼杉山 区内事業者にも、中野区として支援して、そして中野区も支援されて相乗効果を生み出して区全体の産業が成長していく形を考えていくことが肝要だと思います。ぜひお願いします。

### (3) 稼ぐ区有地について

▼杉山 続きまして、稼ぐ区有地について伺います。最近、ドラマやCMなどで見慣れた光景がテレビ画面から飛び込んでくるが多々あります。中野セントラルパークや野方文化マーケット、ムーンロードや川島商店街、区内の専門学校、施設、特徴ある階段、道路、坂道など、映画やテレビに登場するとうれしくなります。ちなみに、撮影利用料などはそれぞれで契約し、料金徴収などを行っている場合もあれば、無料で提供している、またはゲリラ的に撮影している場合もあるかもしれません。

▼杉山 中野区は、過去に映画やテレビの撮影を積極的に誘致し、映像を通して、区の魅力を広く発信することで、来街者の増加や地域活性化につなげることを目的に、フィルムコミッション担当部署を設定したと記憶しております。自分が議員になる前から、ハリウッド映画の中野区への誘致を進めておまして、議員になってからも、令和元年第4回定例会で、シティプロモーションにフィルムコミッションが必要ではと説いております。フィルムコミッションの必要性に関しましては、様々な議員も質問されておりますが、今、フィルムコミッションの担当部署はどちらになりますでしょうか。

▽高村広聴・広報課長 広聴・広報課でございます。

▼杉山 中野区は、公園整備を着々と進めて、江古田の森公園、中野四季の森公園、哲学堂や平和の森、おかのうえ公園とか、様々、草草が広い、高台で開放感がある、建設物が独創的、夜景がきれい、都会的スポーツエリアがある、木々が青々しているなど、特に大型の公園にはそれぞれ特徴があって、人気があります。ドラマやCMに登場している公園もあります。伝えたいのは二つ。一つは、区内事業者や区内クリエイターなど、応援したい人や企業には、シティプロモーションの観点からどんどん使っていただきたい。そしてもう一つは、現在もそこそこフィルムメイカーやテレビ局などから使用料を徴収しているとは思いますが、もっと各部署などと連携しながら拡大を図っていただきたいと思っております。夜の占用許可料などを含め、価格表など整

**備を早期に進めていっていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。**

▽高村広聴・広報課長 来年度会議体を設置し、今後の観光の在り方を検討していく予定です。その中で、フィルムコミッションの実効性を高めるためにはどうすべきか、協議したいと考えてございます。一方で、夜間の撮影につきましては、公園の多くは住宅街にあり、騒音をはじめ、近隣住民への配慮など様々課題があることから、関連部署とその可能性など十分協議の上、区としての考えを整理してまいります。

**▼杉山 今、公園の使用のお話、あったと思うんですけども、公園の占用許可などは、どの部署がどのような形で出されているのでしょうか。公園だが、これも広聴・広報課が窓口となりますか。**

▽林公園緑地課長 中野区公園条例に基づき、公園の管理部署でございます都市基盤部公園緑地課で内容を審査した上で許可をしているところでございます。

**▼杉山 江東区や台東区、品川区や渋谷区、新宿区や墨田区では、公園利用で1時間1万円から2万円程度徴収しています。中野区も、かなり前からフィルムコミッションの必要性が問われておりますが、なかなか前進しない理由は、どのようなことが考えられますでしょうか。高いハードル、明確にできますか。**

▽高村広聴・広報課長 委員が例示された区と比べ、大規模な公園が少ないことも一因だとは思っておりますが、フィルムコミッションが進んでいない大きな要因は、やはり情報の発信が不足していると認識してございます。来年度の観光の在り方検討における協議を踏まえつつ、区として情報発信を工夫するとともに、中野区観光協会とも連携して広報していきたいと考えております。

**▼杉山 東京23区での1人当たり公園面積ランキング、中野区は22番目、そんな中でも整備を進めていただいた自慢の公園をメディア関連にもどんどん利用してほしい。そして、あわよくば稼ぎたい、そのように考えております。これからパークPFIなど、民間の力を使った魅力ある公園管理を進めていく上でも、このレギュレーションは出来上がっていないからと考えると、確かにハードルは高く感じますが、一つひとつ解消しながら、ぜひ公園で稼げるような環境を整えていただきたいとお伝えして、次の質問に移ります。**

▼杉山 昨年の3定本会議での一般質問で、中野サンプラザが2024年に取り壊され、2029年頃に中野サンプラザシティが完成するまでの5年間、サイバー上にバーチャル中野をつくり、サンプラザでオンラインでステージイベントやアーティストのコンサートができるように環境を整備するべきであるとお話いたしました。区長答弁は、中野駅新北口駅前エリア拠点整備施設整備における施工予定者が文化芸術等発信拠点の形成の取組として提案しておりまして、今後具体的に検討を進めるものと考えておりますとの答弁でございましたが、進捗はいかがでしょうか。

▽小幡中野駅新北口駅前エリア担当課長 中野サンプラザが取り壊されてから新しい拠点施設が完成するまでの間のまちのにぎわいの継続については、拠点施設の施工予定者がエリアマネジメントの一環として取り組む予定でございます。現在、中野サンプラザのデジタルアーカイブ化など取組の詳細について適宜区とも打合せを行い、施工予定者が検討を進めているところでございます。

▼杉山 ちょっと進んでいると思いますけども、2024年にその中野サンプラザのない中野駅北口が始まってしまうので、今年や来年には準備を進めていかなければならないと考えております。もたもたしている間に、世の中はメタバース旋風が吹き荒れています。メタ、超越したという意味ですね。それからユニバース、宇宙という意味を組み合わせた造語ですね、メタバース。仮想空間の中で様々な活動ができるようになる技術。かつて一世を風靡した世界的仮想空間、セカンドライフのような概念でございます。

▼杉山 メタバースは、サイバー上に展開されたまちで、アバターなどがイベントに参加できたり、グッズを購入できたり、アート展を開催できたりと、現実と同じような行動やビジネスを仮想空間でも行えるという仕組みで、大手メーカーも仮想空間上に店舗を構えて営業を行ったりしています。渋谷区公認のバーチャル渋谷という渋谷のメタバースなどは、都市型メタバースと呼ばれておりまして、ポストコロナ時代のまちの在り方を見せてくれております。先ほど中野区は、東京23区の中で1人当たり公園面積ランキングで22番という話をしました。面積は15.59平方キロメートルで、決して広いとは言えない中野区ですが、サイバー上に中野区の主要な街並みを再現し、広告収入可能なサイネージやオンラインコンサートに貸し出せるステージ、賃貸できるビルなどを配しながら、稼げる区有地を無限につくっていけばと考えております。この考え方について、区の見解を伺います。



▽堀越企画課長 3次元仮想空間でございますメタバースを活用いたしました経済活性化は、大阪関西万博に向けました準備などでの取組が見られるようになってきているところでございます。仮想空間に公有地を設定したり、またその中で自治体が収入を得ているような事例はまだ確認できておりませんが、当区におきましては、まず中野サンプラザのデジタルアーカイブの取組や、またシティプロモーションに関する効果等も見極めながら、その必要性について研究をしてみたいと考えてございます。

▼杉山 研究というお話だったんですが、ぜひ、まだ事例がないので、大きく中野駅周辺が前進する中で、バーチャルの中で中野をつくって進めていただけると、先進事例ともなるのかなと思います。バーチャル中野としたメタバース上では、参加者が収入を得ることもできれば、リアルに働くこともできます。就業機会を増やす、ハンディキャップのある方々も何かしら働ける形が用意されるような、そんな可能性も秘めております。バーチャルにも就業機会を増やし、様々な方々が働ける場所づくりでも広げていける可能性を感じますが、バーチャル中野、どのように捉えますか。伺います。

▽堀越企画課長 バーチャルによりまして就労機会を増やすことについてでございますが、ハンディのある方の就業機会をつくるということにつきましては、メタバースの活用事例などがあれば参考としたいと考えております。中野区においてメタバースの取組を行うとした場合には、研究等を行う中で、それらの事例も併せて参考としていければと考えてございます。

▼杉山 こういう形で、今、科目的にはないかもしれないんですけど、雑不収入としてこういう収入をどんどん増やしつつ、区民サービスの拡充に還元していけるよう、中野のメタバースの検討にぜひとも着手していただきたいところです。中野駅周辺のメタバースから始まるのであれば、シティプロモーションやエリマネの観点から、前出の中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備における施工予定者にその推進を担っていただくという形も考えられますが、区の見解をお示しく下さい。

▽小幡中野駅新北口駅前エリア担当課長 研究を進め、中野区におけるメタバースの取組を進めていくということにした場合には、区としては、中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備における施工予定者のエリマネジメント取組内容も確認しつつ、今後の進め方について研究を進めていきたいと考えてございます。

▼杉山 我が会派の森議員の総括質疑にもありましたが、ふるさと納税の影響額18億円、どんどん財源が流出している中で、ネット上にも展開する区有地を増やして——区有地と呼べるかどうか分かりませんが——区有地を増やし、区の収入を増やし、働ける環境をネット上に展開し、ネット上でも稼げるまち中野を目指していただければと思います。中野区がネット上で稼ぐ可能性は無限大です。サンプラザが解体されたときに、突如現れた現れるサイバー上のメタバース、バーチャル中野の実現を強く推進していただきたいと強く願ひまして、次の質問に移ります。

#### (4) 文化振興について

▼杉山 現在、文化振興としては、歴史、伝統文化、芸術など、区の文化芸術活動の一層の推進を図るため、文化芸術の振興に関する基本方針を策定している真っ最中だと思います。哲学堂や旧中野刑務所正門などの名称や、文化財などに注目が集まる中、区内の文化芸術の棚卸しが進んでいると思いますが、どんな切り口で文化芸術ジャンルをまとめているのか、まずは教えていただけますでしょうか。

▽矢澤文化国際交流担当課長 お答えいたします。区内には、中世の能楽、伝統芸能から現代のアニメ、サブカルまで、文化芸術に関する多様なコンテンツを有するほか、国名勝指定、哲学堂公園や都の無形文化財である江古田の獅子舞など、貴重な文化的資源も数多くございます。これら中野に根付いている様々な文化的資源を最大限に生かすために、来年度策定を予定している文化芸術の振興に係る基本方針検討作業の中で、産業振興や観光、まちづくりや国際交流など、関連が深い分野との連携協力や文化芸術団体等へのヒアリングなども行ひまして、文化芸術のジャンルを整理していきたいと考えてございます。

▼杉山 中野区内の劇団、知名度全国規模の新生劇団の「劇団仲間」さんとか、イケメン男性だけで構成されている逆宝塚のような「劇団スタジオライフ」さんとか、学校を中心に全国を飛び回っている「東京演劇集団風」さんなどの比較的大きな劇団から、「おひさま冒険団」とか「WITH YOU」など地域のイベントなど手伝ったり、中野のよいところをシナリオに取り入れたりしているような地域密着型の劇団もあります。桃園エリアには四つの小劇場が集まっている。「ポケットスクエア」、そしてなかのZEROに向かう途中の千光前通りの「スタジオあくとれ」など、極小の劇場も多く存在します。この箱で頑張っている役者や芸人の卵、始まりのまち中野の文化資源の一つと定めていただき、応援していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

▽矢澤文化国際交流担当課長 区内で活動している劇団や劇場などにおける文化芸術活動におきましても、区の大切な文化資源であると認識してございます。来年度策定を予定しております文化芸術の振興に係る基本方針においても、国や東京都、それから他自治体の動向を踏まえながら、区内で継続的に活動ができるような環境づくりなど、民間文化芸術団体等に対する支援の在り方について検討してまいりたいと考えてございます。

▼杉山 小劇場は、コロナの影響で、座席数は現在半減しておりますね。それでも興行を行っていかねば存続できない状態です。ぜひとも劇団の支援を検討いただきたい。その代わりに、区が実施するスポーツや文化イベント、区役所ロビーで行っている区民サービスなど、例えば「おもてなし隊」としてお手伝いいただくなども考えられますが、いかがでしょうか。

▽矢澤文化国際交流担当課長 先ほどの繰り返しになりますが、区内には文化芸術に関わる多様な人材が集まっておりまして、区で行われているスポーツや文化イベント等と連携を図ることで、双方にとって様々なメリットが考えられます。今後もそういったイベント等の連携協力の在り方や可能性につままして、研究してまいりたいと考えてございます。

▼杉山 彼らが少しずつ有名になったり、中野を羽ばたいていったとしても、きっと何らかの形で中野の発展に寄与していただけたらと思いますので、ぜひともそのように検討を進めていただきたいと思います。

▼杉山 次に、文化財情報の収集について伺います。前回の一般質問では時間切れでして回答いただけなかったんですが、区内100か所以上ある文化財等について、区民や来街者、メディアなどが一目で分かる、便利に利用できるような文化財マップが整備されておられません。さらには、情報を集めて、「なかのEYE」のように情報を集めて、区民レポーターたちが情報を区が吸い上げられるようなアプリの検討も含めて、観光資源を気軽に投稿できる仕組みの導入を検討してみたいはいかがでしょうか。

▽矢澤文化国際交流担当課長 歴史、伝統文化などの文化資源のほか、中野区にある様々な地域資源を収集し、その価値や魅力を改めて区民に伝えていくことで、中野の文化的な魅力をより広めることができると考えてございます。区民による地域資源や観光資源の投稿の仕組みにつまましては、今後検討してまいりたいと考えてございます。

▼杉山 区民参加型の文化情報マッピングデータベース、どんどん出来上がっていくと、区内経済の発展にもつながっていくと思いますので、ぜひとも前向きに検討していただきたいと思います。

### 3. 区ホームページのリニューアルについて

▼杉山 続きまして、ホームページリニューアルについて伺います。今、中野区のホームページリニューアルのため、RFPなど作っていらっしゃると思いますが、ざっくりどんな内容かなと思って質問をいたします。今の時代、情報、10年以上前からAISEASですが、これ、例えば一番最初のAはアテンション、最後のSはシェアなんですけど、こういう感じ、AISEASという概念あります。ネットにおけるユーザーの心理プロセスのことですが、最後はシェアとなります。コンテンツには当然SNSボタンなどが必須となります。この辺の概念というのは、今回のホームページリニューアルのためのRFPの中に含まれていると考えてもよろしいでしょうか。

▽高村広聴・広報課長 区ホームページのリニューアルは、企画提案型公募によることを想定しております。7月に公募する予定であるため、提案依頼書そのものは新年度に入ってから作成する予定です。スマートフォン対応やSNSとの自動連携、アクセシビリティ、アンケート機能の強化、データ解析などを重点事項として考えていく予定です。AISEASを意識することは、自治体の情報発信においても必要であるとは考えております。また、SNSのシェアボタンを設置することは、情報の拡散や広報効果の測定において有効だと認識しておりますが、自治体のホームページにおける効果的な運用については、提案依頼書を作成していく際に、また事業者から提案を受ける中で検討していきたいと考えてございます。

▼杉山 次に、区のホームページの中の個別ページについて、例えば「中野駅駅前広場デザイン等整備方針の策定について」というページの中に、関連情報「中野駅周辺まちづくり」というリンクがあって、閲覧者の行動を想定して、優しさが散りばめられていますね。これに関しては、一つひとつ手作業でリンクを組み込んでいるのでしょうか。伺います。

▽高村広聴・広報課長 そのとおりでございます。

▼杉山 ネット通販とかでよく見る、「このページを見た人はこのページを見ています」みたいなものですね。手作業で行っていただいていると、かなり大変だと思います。見ている人も、そういうリンクは結構感謝する便利なリンクだと思いますが、これ、すごく大事なことなんですけど、本当に手間がかかると思うんですが、この辺——手間かかりますよね、1個、聞いておきます。

▽高村広聴・広報課長 関連情報の設定は、委員おっしゃるように、手作業ではありますが、CMSでは比較的簡単に設定できるため、作業効率はそこまで低くないというふうに認識しています。

▼杉山 先ほどお話ししたように、「このページを見た人はこのページも見ています」のようなレコメンド的な表現は昔からありますが、AIが自動に表示してくれるようなレコメンドエンジンを活用してみたいはいかがでしょうか。昔はかなり高価でしたが、今でも性能によっては、巨額のレコメンドエンジンもありますけど、自治体が気軽に導入できる価格帯のものもあります。働き方改革の一環で、レコメンドエンジンの導入も検討してみたいはいかがでしょうか。

▽高村広聴・広報課長 例えばワクチン接種や臨時給付金の支給など、新たな仕組みや制度が複雑で関連するサービスが多いものについて、区民の方に必要な情報を届け、理解いただくために、レコメンド機能は有効だと考えてございます。リニューアルに当たって、機能追加できないか、検討していきたいと考えております。

▼杉山 また、現行のホームページでは、例えば「じゃぶじゃぶ池」や「池流れ」、一時保育など、所管が違ったり、指定管理が入っていたりすると、同じページでも見ることができないことがあります。利用する区民目線での改善が必要です。また、多言語対応を一層進めるべきだと考えますが、見解をお示しく下さい。

▽高村広聴・広報課長 現在のホームページは、必要な情報を探しやすいデザインやカテゴリーには十分になっていないと認識しておりまして、利用者視点での改善に力を注ぐと考えてございます。今後整備を進め、ホームページのリニューアル時には、分野対象など各カテゴリーで一覧できるページを作成したいと考えております。ホームページの多言語対応につきましては、現在の6か国語対応を約100か国語対応にしていく予定でございます。また、アクセス数が多い情報を中心に、「やさしいにほんご」のページを増やしていきたいと考えております。

▼杉山 さらに、ホームページ上のアンケート機能の向上も必要だと考えます。今よりも回答者が答えやすいものへの改良、そして各課で取組の評価や施策事業の立案のために生かすべきだと考えます。アンケート機能、いかがでしょうか、伺います。

▽高村広聴・広報課長 事業の見直し、改善につなげるためには、例えば各事業やサービスの利用者満足度などを図ることが前提だと認識しておりまして、その方法の一つとして、SNSを活用したホームページによるアンケート調査は有効であると考えております。ホームページのリニューアルに当たっては、質問の分岐にも対応した調査票を作成できるようにするなど、アンケート機能の充実を図ってまいります。これらを活用して事業の適切な評価、施策の立案などに生かしたいと考えております。

▼杉山 ホームページリニューアルの、そのホームページの業者というの、決定は来年11月、サイトのローンチはいつとお考えでしょう。

▽高村広聴・広報課長 新しいホームページは、再来年の11月に公開したいと考えております。

▼杉山 再来年11月ということなんですけども、ホームページのローンチに、業者決定から1年かかりますよね。予算5,200万ぐらいですけど、1年かかる。この大きな理由は何でしょうか。

▽高村広聴・広報課長 作業工程や十分なテスト期間、あとここ数年の他区のホームページリニューアルに要した期間を鑑みて、おおむね1年の期間としたものでございます。また、区からのお知らせや転出入などが多い時期を避けて、再来年の11月の公開を予定しているところでございます。

▼杉山 十分なテスト期間というのも本当に大事だと思います。ぜひとも安全なウェブサイトを立ち上げていただきたいと思いますが、現行ホームページは、レスポンス対応ではないので、少しでも早く、今のホームページが情報はたくさんあるけど、やっぱりスマホ対応をされていないとか、ありますので、ぜひともリリースを少しでも前倒しにできたらいいなとは思いますが、そこら辺の考えも何とか考えていただき、少しでも前倒しできるように進めていただきたいと思います。

▽高村広聴・広報課長 先ほどと重複しますが、まずはきちんとしたリニューアルをして、区民の方に分かりやすく情報を届ける、それも確実にということが大事だと思っていますので、少し余裕を持った期間としての11月としています。企画提案がある中で、例えば期間を縮められるようなことがちゃんと担保できるのであれば、そういったことも対応したいというふうに思っています。

▼杉山 ありがとうございます。あくまでも安全にということで、それ、大事だと思います。そのようにお願いします。

▼杉山 この項の最後に、ICT-BCPの観点から、新たなホームページのコンテンツ全範囲のうち、IDCが落ちた、サーバーがダウンした、キャリア回線が分断されたなどのICT系の大規模障害が発生した場合でも、絶対にダウンさせてはならない部分があると思います。そのページをどこに設定しておくのか。また、キャッシュ保存でのリカバリーや最悪、SNSでの情報発信も視野に入れているのかどうか、この項の最後に伺っておきます。

▽高村広聴・広報課長 万が一、区のホームページへアクセスできなくなった場合は、緊急対応としてヤフーのキャッシュサイトで区のホームページの掲載情報を閲覧することができるようになってございます。また、ツイッター、LINE、フェイスブック、シュフーによる情報発信で補うことを想定してございます。

▼杉山 ありがとうございます。ウェブサイトはフレキシブルで、マルチエンタランスで、シェア連動で、ボーダーレスで、立体的に情報発信することが必要であると同時に、データが動かずとも確実に見られる部分も必要です。ぜひとも見やすく、探しやすく、そして落ちない、ホームページを実現していただきたいと思います。

## 4. 中野駅周辺再開発について

### (1) 中野駅南口駅前広場整備について

▼杉山 続きまして、中野駅周辺まちづくりについて、まずは中野駅南口駅前広場の整備について伺います。中野駅南口駅前広場、いわゆる南口ロータリーですが、中野二丁目土地区画整理事

**業で予定されている中野駅南口駅前広場拡張整備事業の進捗状況をまずは伺います。**

▽石橋中野駅周辺地区担当課長 南口駅前広場の整備に向けましては、現在、中野二丁目土地区画整理組合において工事工程、施工ステップを含めた実施設計の作業を進めており、警視庁や電気、ガス、通信等の占用企業者等の関係機関等と協議を進めているところでございます。

**▼杉山 このロータリーの完成時期はいつとなりますか。中野二丁目市街地再開発事業、いわゆる再開発のビル2棟の完成時期と併せて伺っておきます。**

▽石橋中野駅周辺地区担当課長 再開発ビルの竣工は2024年の2月、駅前広場の完成は2026年が予定されてございます。

**▼杉山 中野二丁目の大きな建物2棟が完成して、中野駅南口周辺の昼間人口は3,000人から4,000人、夜間も1,000人から2,000人程度増えるという予測がある中で、再開発ビルの開業からも1年以上、中野駅南口ロータリーの工事が続くということとなりますが、その間、歩行者の歩行空間の安全性はどのように担保される予定でしょうか。工事車両の動線も心配ですし、中野三丁目の桃園広場の完成も同時期なので、歩行者動線、本当に心配をしておりますが、いかがでしょうか。**

▽石橋中野駅周辺地区担当課長 南口駅前広場の工事期間中における歩行者等の安全確保につきましては、最優先の課題というふうに認識をしております。現在、中野二丁目土地区画整理組合において、施工ステップの詳細を検討する中で、工事期間中の交通動線の在り方、歩行者等の安全確保策についての具体的な検討も進めているところでございます。

**▼杉山 南口の交番がかなり早いタイミングで工事エリアに引っかかると思うんですが、交番ってどうなるんですか。**

▽石橋中野駅周辺地区担当課長 現在の南口交番につきましては、南口駅前広場内に設置をすることとしております。工事中の仮設交番の設置も含め、現在、警視庁及び中野二丁目土地区画整理組合と協議を進めているところでございます。

**▼杉山 仮設交番もどの辺りにできるかも気になるころではございますが、警視庁が考え中**



ということですね。分かりました。ということで、中野駅南口駅前広場では、雨天時における雨水処理能力の脆弱性、そして、下水からの悪臭などの問題について、地域から声が上がっております。今回の拡張工事で、この辺りの問題は解消されるのでしょうか。対策は講じられますか、伺います。

▽石橋中野駅周辺地区担当課長 南口駅前広場の整備では、土地区画整理事業において、新たに雨水貯留槽を南口駅前広場に設置する予定であり、雨水について十分な対応が可能な設計であるというふうに認識をしております。なお、悪臭の問題につきましては、これまでも東京都の下水道局等の関係機関へ情報を伝えており、引き続き対応を求めていきたいというふうに考えています。

▼杉山 ありがとうございます。この南口広場は、バスやタクシーの乗りやすさ、歩行のしやすさに加えて、ビジュアル面や機能面も重要と考えます。中野三丁目の桃園広場の設計においては、中野区主導で意見交換会を実施し、区民への周知と意見募集、名称募集を行っています。このロータリーに関しましても、同様に意見交換会などの手続が必要と考えておりますが、いかがでしょうか。

▽石橋中野駅周辺地区担当課長 南口駅前広場の機能、デザインの詳細につきましては、中野駅駅前広場デザイン等整備方針に基づき、現在専門家を交え、具体的な検討を進めているところでございます。今後、警視庁等関係機関との協議調整が整った段階で、中野三丁目の桃園広場と同様に、地域との意見交換会等を実施していきたいというふうに考えてございます。

▼杉山 意見交換会が設けられる可能性があるということで、ありがとうございます。まだまだ横断歩道の場所とか、信号の変わるタイミングとか、それから桃園広場側から中野通りへ出る際に右折が可能かどうか、いろいろ気になるところありますけども、次の質問に移ります。

## (2) 中野通りの中野駅ガード下について

▼杉山 中野駅ガード下の整備について伺います。中野駅周辺のまちづくりに関して、すっかり取り残されている、そこが中野駅ガード下付近の中野通りのことです。雨水処理能力も低い。そして、大雨のときには、線路側から滝のように雨水が流れてくる。道路も水没することもあります。過去にも質問しましたが、中野駅西口改札、そして中野三丁目、二丁目、区役所・サンブ

ラザ周辺再整備、いろいろありますが、ここの場所だけがなかなか報告が少ない。そういう場所  
でございます。以前、質問した際には、中野通り高架下につきまして、中野駅駅前広場デザイン  
等整備方針において、中野駅周辺地区の南北をつなぐ主要動線として、ユニバーサルデザインに  
配慮した、明るく安心感のある歩行空間の確保や中野駅北側の雰囲気や南口駅前広場等の連携  
に配慮し、公共道路にふさわしい空間とすることを整備方針とするとの回答でしたが、東京都に  
対してどのような整備方針なのかなどは、既に伝えていらっしゃると思いますでしょうか、伺います。

▽石原中野駅地区・周辺基盤整備担当課長 中野駅駅前広場デザイン等整備方針で示しており  
ます中野通り鉄道高架下の整備方針は、中野通りを所管する東京都第3建設事務所も委員とし  
て参加している策定検討会で決めたものであり、課題についても共有しているところでござい  
ます。中野駅ガード下の具体的な整備につきましては、本整備方針に基づき、今後東京都と連携  
して取り組んでまいりたいと考えてございます。

▼杉山 もう今から連携して取り組んでいるということですね。ちなみに、中野通りの駅側の路  
肩には、関東バスさんとか、京王バスさんの駐車場がありますけど、南口ロータリーが改修され  
ると、そこは残るのか、なくなるのか、この辺の方針というのも決まっておりますか、伺います。

▽石原中野駅地区・周辺基盤整備担当課長 現在、中野駅ガード下の中野通り東側にあるバス停  
留所につきましては、中野駅新北口駅前広場の整備や南口駅前広場の拡張再整備に合わせて、各  
駅前広場内に移設する予定でございます。

▼杉山 今、移設の予定ということでしたけども、もしそれがなくなった、バスの停留所がなくな  
った場合、歩行者と自転車、自動車などの走行、通行エリアのすみ分けなどは明確化されま  
すでしょうか。

▽石原中野駅地区・周辺基盤整備担当課長 警視庁は、中野通りにおいて自転車走行位置の明示  
などを行っており、自転車と自動車の走行エリアを明確化し、自転車利用の快適性、安全性の向  
上を図っております。また、中野駅地区整備基本計画において、中野駅ガード下にあるバス停留  
所の移設に伴い、中野通り東側の歩道を拡幅することを整備の考え方として示しており、現在よ  
り歩行空間が確保されることとなります。

▼杉山 一番大事なのはやっぱり歩行者。歩行者がしっかりと守られるような最大限の配慮で

検討を進めていただきたいと思います。2028年には、中野駅の周辺の一連の再開発など完了予定となっておりますが、ガード下は同時に整備されるのか。それとも、南北の周辺の整備が完了してから検討に入るのか。もしくは、検討だけは進めておいて、周辺の整備が完了したら、次にガード下に工事、修繕が入るのか。ここら辺の考えはありますでしょうか。

▽石原中野駅地区・周辺基盤整備担当課長 中野駅ガード下の中野通り東側の歩道拡幅につきましては、中野駅新北口駅前広場や南口駅前広場の整備が完了し、バスなど交通機能を各駅前広場に集約した後に整備を行っていくこととなります。この歩道拡幅と併せまして、中野駅ガード下の整備についても検討を進めていきたいと考えてございます。

▼杉山 周辺整備の流れを踏襲しながら検討を進めていくという考えだと思いますけど、それより前に何か手を打つべきかなという考えもあります。壁面や夢通りギャラリーの再整備などは、分離して考えることはできませんでしょうか。桃園広場や南口ロータリー同様、多くの区民に意見をもらって進めるミュールプロジェクトのような手法で壁面アートするなど、検討を進めてみてはいかがでしょうか、伺います。

▽高村広聴・広報課長 ガード下ギャラリーは、ガード下を明るく親しみやすく、夢を感じさせる空間にしてほしいという区民の皆さんの要望を受け、平成元年に整備したものでございます。平成9年にJRが壁面塗装工事を実施しておりますが、時間の経過により塗装が劣化し、ガード下ギャラリーの掲示効果を高めるためにも、壁面の改善が必要だと認識してございます。漏水があるなど、様々課題がありますが、例えば今年度区内事業者、JR中野駅、区が連携して中野駅北口広場に制作した壁画と同様の手法をガード下で実施できないかなど、壁面改善を関係機関とともに検討してまいります。

▼杉山 ぜひとも進めていただきたいと思います。都とJR東日本の管轄であるからやらないという回答じゃなくてよかったです、前向きに回答いただいて、大変ありがたく思っています。ぜひとも近隣の声を聞いて、すばらしいものにしていただきたいと思います。願いまして、次の質問に移ります。

## 5. その他（桃園橋の親柱等保存について、東中野駅西口線路沿い桜並木について）

▼杉山 時間がありませんので、桃園橋、前回時間切れになりましたので伺いますが、そうです

ね、この桃園橋の方針、区としての方針、聞いておりませんでしたので、最後にお答えいただければと思います。

▽矢澤文化国際交流担当課長 お答えいたします。桃園橋の親柱及び橋名板の保管場所につきましては、現在、都の資材置き場に保管されておりまして、東京都へ意向を確認したところ、保存して活用する予定は今のところないと聞いております。引き続き東京都と調整しつつ、現物の確認も調査を行った上で、保存の在り方について今後検討してまいりたいと考えてございます。

▼杉山 お答えいただき、間に合ったようで、ありがとうございます。東中野駅西口線路沿い桜並木については時間がございましたが、中野区がちゃんとするまでやり続けるつもりです。以上で私の全ての質問を終わります。御清聴いただきましてありがとうございました。